

「総合力さらに高める」

NEWS CIT

2017
7.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行



保護者らに決意 瀬戸熊理事長

躍進の本学 29年度PPA総会開く

「千葉工大」ブランドの全国的な浸透や志願者数の増加、教育改革の着実な前進、絶好調の学生の就職状況などを受けた平成29年度のPPA総会が6月24日、習志野市文化ホールで開かれ、保護者や教職員648人(ほかに委任状3512人)が出席した。写真は本学の躍進ぶりを直に感じたいという学生の父母たちの静かな熱気に包まれていた。

新会長に白川氏

冒頭、あいさつした室川和也会長は「人間関係が希薄になっているといわれる今日この頃だが、私はPPA活動を通じて素晴らしい仲間と出会うことができ、人間として成長させられた」と、保護者と教職員が密接に連携・協力し合う本学独自の後援会組織の意義を改めて強調した。

平成29年度 PPA地区懇談会会場

開催時刻：13時(本学は12時30分)

地区	開催日	会場名	電話
札幌	9月2日(土)	ホテルマイステイズ札幌アスペン	011-700-2111
帯広	9月3日(日)	ホテルグランテラス帯広	0155-27-0109
函館	9月3日(日)	ホテル函館ロイヤル	0138-26-8181
八戸	9月9日(土)	ダイワロイネットホテル八戸	0178-73-2555
秋田	9月2日(土)	秋田ビューホテル	018-832-1111
山形	9月9日(土)	山形グランドホテル	023-641-2611
酒田	9月3日(日)	ホテルリッチ&ガーデン酒田	0234-26-1111
盛岡	9月10日(日)	ホテル東日本盛岡	019-625-2131
仙台	9月9日(土)	アークホテル仙台青葉通り	022-222-2111
郡山	9月10日(日)	郡山ビューホテルアネックス	024-939-1111
会津	9月9日(土)	ホテルリッチ&ガーデン酒田	0242-24-5151
いわき	9月3日(日)	グランパークホテルパネックスいわき	0246-35-5010
新潟	9月3日(日)	ホテルオークラ新潟	025-224-6111
長岡	9月2日(土)	パストラル長岡	0258-35-1305
富山	9月3日(日)	ホテルグランテラス富山	076-431-2211
長野	9月2日(土)	ホテルJALシティ長野	026-225-1131
松本	9月10日(日)	松本ホテル花月	0263-32-0114
小諸	9月3日(日)	小諸グランドキャッスルホテル	0267-22-8000
宇都宮	9月10日(日)	ホテルニューイタヤ	028-635-5511
小山	9月9日(土)	小山パレスホテル別館和風ダイニング彩華	0285-22-2633
高崎	9月10日(日)	高崎ワシントンホテルプラザ	027-324-5111
さいたま	9月9日(土)	浦和ロイヤルパインズホテル	048-827-1111
水戸	9月2日(土)	水戸京成ホテル	029-226-3111
土浦	9月3日(日)	ホテルグリーンコア土浦	029-822-4111
潮来	9月3日(日)	潮来富士屋ホテル別館開花亭	0478-56-2123
甲府	9月9日(土)	ホテル談露館	055-237-1331
沼津	9月2日(土)	ブラザヴェルデ	055-920-4100
静岡	9月3日(日)	静岡グランドホテル中島屋	054-253-1151
浜松	9月2日(土)	オークラクトシティホテル浜松	053-459-0111
名古屋	9月9日(土)	名古屋国際ホテル	052-961-3111
大阪	9月10日(日)	ホテルアウアーナ大阪	06-6772-1445
広島	9月10日(日)	リーガロイヤルホテル広島	082-502-1121
松山	9月3日(日)	道後館	089-941-7777
高知	9月2日(土)	ザ・クラウンパレス新阪急高知	088-873-1111
福岡	9月9日(土)	ホテルセントラーザ博多	092-461-0111
大分	9月10日(日)	レンブラントホテル大分	097-545-1027
宮崎	9月2日(土)	ホテルJALシティ宮崎	0985-25-2580
鹿児島	9月3日(日)	城山観光ホテル	099-224-2211
那覇	9月9日(土)	ホテルロイヤルオリオン	098-866-5533
本学	10月1日(日)	津田沼校舎2号館3階大教室	047-478-0209

ニュースガイド

- 2面 牧野さん空手日本代表に／石井さんダーツ女子個人優勝／富樫さん向山さん優秀論文発表賞／菊池さん奨励賞／aba排泄検知シート、先進的IoTに採択
- 3面 経情・金融4教授に論文賞、山口教授特別賞／山崎教授ポスター賞1位／吉川主任研究員が優勝／藤田教授に貢献賞／豪の選抜高校生が来校研修
- 4～5面 本学28年度決算／学生共済会予算・決算
- 6面 本学にプロジェクター2台／古田所長が生徒らに講演／谷津干潟の日・村上研が展示／出版案内
- 7面 寮の大運動会／30年度本学入試日程／校友「石塚正徳さん」
- 8面 6月オープンキャンパス／新任紹介／クラブの活動状況

スタートした5学部17学科体制での教育・研究改革と充実ぶりを挙げてアピール。
「企業が千葉工大生に注ぐ視線も年々、熱くなっている。本学はこれらの総合力をさらに高め、世界文化に技術で貢献する」という建学の精神を高く掲げて、創立100年に向かって邁進して行きます」と決意を披瀝した。

「女性の活躍」加速へ

県内産官学で行動宣言確認

千葉県内の産官学の男性リーダーが主導して、女性活躍推進の裾野を広げ、意欲・能力のある女性の登用を積極的に進めていくという「輝く女性の活躍を加速するちばのリーダーの会」の発足式が6月16日、千葉市内のホテルで開かれた。千葉銀行の佐久間英利



平成26年3月に首相官邸で開催された「輝く女性の活躍推進を応援する女性活躍推進法」を契機に、女性活躍推進を加速する「輝く女性の活躍を加速するちばのリーダーの会」が設立された。この流れを受けて、本学も今年2月、瀬戸熊理事長が同行動宣言への賛同を表明。28年4月～33年3月の5年間に、女性の活躍推進のために学内で雇用環境の整備を行う行動計画を策定した。この行動計画には、管理職(課長職以上)に占める女性の割合を15%以上にするとという目標も盛り込まれている。

一方「ちばのリーダーの会」は、全国的なムーブメントが全国に広がり、全国規模の「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」が同年6月に策定した行動宣言の賛同者は、昨年末現在で有名企業や地方自治体、大学・研究機関のトップなど1300人を超えている。昨年4月には女性活躍推進法が施行された。こうして流れを受けて、本学も今年2月、瀬戸熊理事長が同行動宣言への賛同を表明。28年4月～33年3月の5年間に、女性の活躍推進のために学内で雇用環境の整備を行う行動計画を策定した。この行動計画には、管理職(課長職以上)に占める女性の割合を15%以上にするとという目標も盛り込まれている。

議事は、28年度事業報告・決算報告・監査報告と29年度の事業計画・予算をいずれも全会一致で承認。事業計画では、学生の国際学会出席の増加などに対応するための研究活動援助の拡充が認められた。また、PPA地区懇談会を別表の日程で開くことが決まった。さらに会長以下の新役員と評議員を選任した。新役員は次のとおり

(敬称略)
 △会長 白川恒平(生命環境科学科3年の保護者) △副会長 深水進(プロジェクトマネージャー) △同 橋本和明(生命環境科学科教授) △同 田部井洋子(電気電子工学科1年の保護者) △同 村上利幸(経営情報科学科准教授)

恒例の学科懇談会と個別面談が行われ、父母たちは各学科の教育への取り組みや子女の勉強ぶりなどについて教員と熱心に話し合っていた。

また、総会に先立って(株)エーピーシー商会採用・教育チーム部長の山本みどりさんが「近年の就職活動状況と保護者の役割」と題して講演した。

IIは、全国的なムーブメントの広がりを県内で一層加速し、地方創生につなげていくのが目的。この日の発足式ではリーダー同士のネットワークを拡大していくことなどを盛り込んだ「行動宣言」を公表した。

瀬戸熊理事長はいさついで、本学が女性の就業継続、キャリア形成支援の観点から、子育てをしながら働き続けられる環境整備として、学内に「千葉工大ひまわり保育園」を設置していること、全国の大学に例を見ない最新設備の整った女子学生寮を新設したこと、惑星探査研究センターでは、米航空宇宙局(NASA)と連携・協力した世界初の国際宇宙ステーション(ISS)からの流星観測を、女性研究者主導で行っていることなどを紹介し、「科学技術立国ニッポン」推進のために女性の研究者や技術者をもっと積極的に育成していかなければならない」と呼びかけた。

牧野さん 空手日本代表に

船越義珍杯 アイルランドで少年世界選手権

体育会空手道部の牧野樹さん(金融・経営リスク科学科3年)が8月18日、アイルランドのリムリック大学で開かれる「船越義珍杯第14回少年世界空手道選手権大会」の男子19〜21歳の部(8月19日)が合わせて開かれる日本空手協会主催の同協会最大の競技会。今年大会には世界約130カ国の選手がアイルランド第3の都市、リムリックに集結。日本からは少年と一般合わせて男女約150選手が参加し、世界の強豪と鍛錬の成果を競い合う。

19〜21歳の部は少年選手権の最年長クラス。牧野さんは「組手」に他大学の2選手とともに出場し、世界各国の46人の選手とトーナメント戦で優勝を争う。牧野さんは保育園の年長組のとき、母の美礼さんの勧めで空手道場に通い始め、「仮面ライダーのようなカッコよさ」に、すっかり空手好きに。家庭でも父の仁己さんを相手に練習に打ち込み、小学校6年で黒帯獲得。

高校は空手部のある拓大紅陵高校。大学は同校の先輩で日本空手協会指導員として本学空手道部の監督を務めている根本



敬介さん(PM学科卒)の勤めで、迷わず本学の金融・経営リスク科学科に進んだ。空手道部の練習は午前6時半〜8時と午後6〜8時の1日2回と厳しいが、体格・体力に勝る外国人選手との一本勝負に備えて今、追い込みの猛練習中。「初めての世界の舞台なので、一戦一戦全力を集中して、練習の成果を出したい」と抱負を語っている。なお、根本監督も一般の空手選手権に出場する。

石井さん 女子個人V

全関東学生ダートトライアル 男子は団体6位

自動車でも舗装の指定ルートを走り、タイムを競う全関東学生ダートトライアル選手権大会(6月25日、栃木県那須塩原市の丸和オートランド那須で開催)で、本学体育会自動車部の石井与詩乃さん(デザイン科学科4年)が女子個人の部で優勝した。男子は団体で6位の出場が決まった。

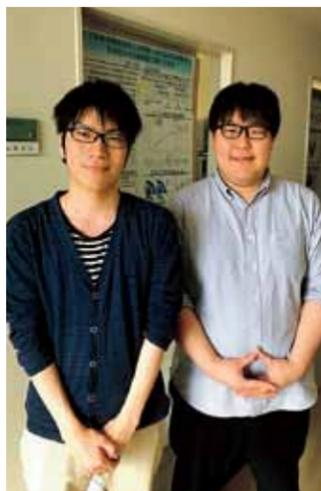
女子のダートトライアル競技人口は少なく、今回も男子15校45人参加に対し、女子は6校9人。順位のタイム差も大きく出ることが多い。石井さんは曇り空の下、凹凸やカーブの激しいコースを、ドリフトの土煙を上げて果敢に攻め続け、優勝をさらった。



①ダートコースを駆ける石井車
②表彰台の石井さん(中央)

富樫さん 優秀論文発表賞

電気学会研究会での論文評価され



富樫さん(右)と向山さん

電気電子情報工学専攻の大学院生・富樫優介さんと向山弘文さん(とも)という。僅差の優勝に「全員走り終わるまでヒヤヒヤしました」と石井さん。

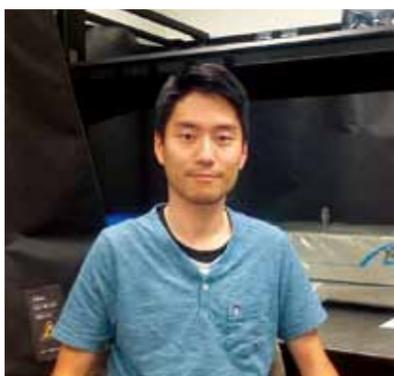
「部員みんなには本当に感謝しています。また、練習から大会までサポートしてくださった斎藤亮一さん(2009年、機械サイエンス学科卒)ら本学OB、OG、オートランド千葉の方々、大学関係者など、本当に多くの方々に支えられ、結果を残せたのだと感じます。全日本学生ダートトライアル選手権(8月6日、丸和オートランド那須)も控えているので、さらに頑張ります」と語った。

富樫さんの論文は、日産自動車(株)と連名で発表した「IPMモータにおけるキャリア損低減のための形状最適化に関する検討」。

電気自動車やハイブリッド自動車ではIPM(永久磁石埋込式)モーターが使われる。低速・低出力を繰り返す市街地走行では、回転数を制御するインバータの高調波磁束がモーター各部に影響を及ぼすことで生じる「キャリア損」が効率を大きく下げる。このキャリア損を最小化するモーター形状を、コンピュータによる自動形状最適化を研究

菊池さん奨励賞

ドリルの耐摩耗性向上を研究



日本材料科学会の学会誌に掲載された菊池佑介

損変化に関する検討」を發表した。変電所で使用される大形の三相変圧器は、複数の鉄心を組み合わせて製造されている。組み合わせ部分で発生し変電効率を下げる渦電流の挙動を、三次元電磁界解析によって明らかにし、変電効率を高める組み合わせ方を検討した。

軟窒化処理は鋼の耐疲労性を高めるため比較的低温で処理する方法。硬度を高めるラジカル窒化の後に軟窒化処理を施すことで、DLCと鋼の密着性が向上し、コーティングする際の工程数の削減が可能となった。

研究現場では、ガス流量比やプラズマの状態を常に確認しながら最適な条件を見出すのに多くの時間を割いたという。

27年度の学術講演大会ポスター発表部門で発表して若手奨励賞に選ばれ、学会誌「材料の科学と工学」に掲載。今回の授賞は最近数年間に学会誌に掲載された研究論文が審査対象となった。

菊池さんは「とても光栄です。坂本教授をはじめ研究室の皆さん、お世話になった方々に感謝します」と語った。

abaの排泄検知シート

宇井代表のベンチャーに資金支援

「先進的IOT」に採択

本学大学院工学研究科の宇井吉美さん(博士後期課程2年、長尾徹研究室)が代表を務める介護機器ベンチャー、(株)abaが開発した排泄検知シートが情報処理推進機構の「先進的IOTアプローチ」に採択された。

この検知シートは、高齢者や身体障害者など要介護者の体に直接装着せず、ベッドに敷いて使用し排泄を自動で検知して通報する。おむつを開けずに排泄が分かるため、介護する人の負担を軽減し、要介護者のQOL(生活の質)向上にもつながると期待されている。

abaは、この検知機能を使って要介護者個々の体臭・排泄臭を自動学習し、排泄を自動記録することによって、おむつの交換スケジュールを自動的に作成する機械学習機能を備えたシステムの開発を進めている。

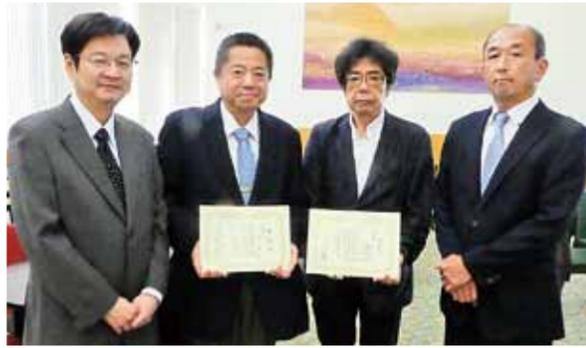
今回の採択はこの点が「おむつ交換業務の負担軽減を目指す業務スケジューリング技術の開発」として評価された。

abaには2000万円を上限とする資金支援と、専門家をメンターとする技術開発の伴走支援が提供される。

一方、abaとパラマウントベッド(株)が共同で進めてきた排泄検知シートの製品化も大詰めにかかっている。9月に開催される国際福祉機器展で、製品名「ThePad」としてお披露目の予定だ。

経情・金融4教授に論文賞 山口教授には特別賞

産学連携学会が授与



(左から)山崎教授、山口教授、藤本教授、越山教授

本学経営情報科学科の山口佳和教授と藤本淳教授、金融・経営リスク科

学科の山崎晃教授、越山健彦教授の4人が連名で産学連携学会の学会誌「産学連携学」に発表した論文「大学特許と影響要因の關係の定量的評価に関する研究」が同学会の2017年度論文賞を受賞。特に山口教授には、学会をリードした多数の論文掲載に對し、同学会から2017年度特別賞が贈られた。

報告された。4教授は学会システム科の立場から産学連携の在り方を研究。今回論文は千葉工大を含む全国の92大学を対象に大学特許に関するデータ、大学の指標や活動に関するデータを収集、分析した。

その結果、特許出願件数/教員数、特許保有件数/教員数、特許実施件数/教員数、特許実施収入/教員数を、5個、4個、2個、3個の説明変数で説明する重回帰式(重決定係数はそれぞれ76.9%、74.9%、44.1%、48.2%)が導き出された。説明変数の多くは、産学連携活動を表す変数が占めたが、一部に学生の状況、研究活

動、大学のタイプを表す変数も選択された。大学特許を増やすには産学連携の促進が必要だが、併せて研究活動の強化と大学院の充実も重要であることなど、新しい知見が導き出されたことが評価された。

山口教授は学会誌第1号から論文を継続投稿。第12巻第2号まで査読論文12報、研究ノート1報が掲載された。掲載論文などが10報を超えたのは山口教授だけで、「特に顕著な業績を残し記録にとどめるべき者」として特別賞が贈られた。

1号から、別の5路線の各時刻の支障状況を予測するモデルの構築と精度を競わせた。大半の参加者が降水量、雷、風速からモデルを組み立て、吉川主任研究員は地震データも加えた精細モデルを構築。性能、アイデアともに最も優れていると評価された。

モデリングを競うコンペは近年、盛んに催されるが、吉川主任研究員は初参加。日ごろの研究とは異なる知識や能力が必要と感じたという。優勝に「試行錯誤しながらも良い結果が得られたことはとてもうれしく思います。この経験を生かし、ステアラボ主催でコンペを開いたり、本学学生と一緒に参加チームを作っていけたらと思います」と語った。

大会スポンサーには富士通、NEC、日本マイクロソフト、オムロン、NTTドコモなど、日本を代表する企業50社以上が参加。人工知能(AI)技術の将来を注視した。

先川原室長は「Hallucine」や「Core」などfuroの技術の粋を集めたロボットたちをパワーポイントを使って紹介。Hallucineのユーモラスな動きなどに、高校生たちは大きな歓声を上げていた。同行した同州政府駐日事務所の係官は、本学の対応に「皆、大喜びで感謝しています。これから第2回、第3回このスクールを実施する予定なので、千葉工大にもよろしくお願ひしたい」と話していた。



吉川主任研究員 優勝

人工知能学会のモデリング・コンペ

山崎教授 ポスター賞1位

米電気電子学会の国際会議でオルタネーター高出力化発表



国際会議の山崎教授(左から2人目)

電気電子工学で世界最大の学会・米電気電子学会(IEEE)の「電気機器とドライブに関する国際会議」(EMD C)5月21~25日、フロリダ州マイアミ市で開催)で、本学電気電子学科の山崎晃教授が、自動車用オルタネーター(発電機)の高出力化に関する研究を、自動車部品製造のシグマ&ハーツ社(タイ)と連名でポスター発表し、優秀ポスター論文発表賞1位を獲得

した。シグマ&ハーツ社の額素明会長は本学OB。その縁で山崎教授と共同研究している。今回は新構造のオルタネーターを山崎教授のアイデアに基づいて同社で試作。重量を軽減し出力も増加することが確認された。

オルタネーターはほぼ全ての自動車に搭載されており、装置の小型高出力化は至上命題。このため山崎教授らのポスターは高い関心を呼び、欧州

でオルタネーターを生産している仏ヴァレオ社の技術者など多数の研究者から質問を受けたという。覆面審査員10人が300件近い発表を審査した結果、山崎教授らの1位が決まった。

山崎教授は「会議の終わりに『1位から3位までを表彰する』と発表があり、何と1位として私たちのポスター発表が呼ばれた。非常に光栄で名誉なこと」とコメントを寄せた。

IEDCは1997年以来、米国で2年に1度開催。山崎教授は第1回大会以来毎回参加している。

藤田教授に貢献賞

情報処理学会で長年 論文査読活動



情報処理学会(富田達夫代表)は6月2日、東京都千代田区の学会館で、論文誌の査読に貢献したとして本学情報工学科の藤田茂教授に写真賞を贈った。

情報処理学会(1960年設立)は会員数1万8千人。コンピュータとコミュニケーションを中心とした情報処理に関する学術・技術の発展を目的としている。藤田教授は学会で多数

の査読を担当。2008年6月~09年5月に学会論文誌の知能グループ主任、10年12月~11年11月には「分散処理とネットワークサービス」特集号幹事を担当し、査読を取りまとめた。

藤田教授は「学術団体の活動は、無報酬を基本に互いの研究を支援するもの。論文査読は、投稿論文を新規性、有用性などの観点から評価・判定する重要作業ですが、外部からは見えにくいものです。今回、10年以上に渡る査読を評価していただき、大変感謝しています。また、「査読活動は、どのように論文を書けばよいかという有益な経験になり、学生・院生の研究、教育に間接的に反映しています」と語った。



同行した同州政府駐日事務所の係官は、本学の対応に「皆、大喜びで感謝しています。これから第2回、第3回このスクールを実施する予定なので、千葉工大にもよろしくお願ひしたい」と話していた。

豪の選抜高校生 研修

furoのロボットに歓声

オーストラリア・クイーンズランド州の高校で日本語を学び、かつ理系科目でトップクラスの成績を修めている1年生15人が6月28日、東京スカイツリータウンキャンパスを訪れ、本学のロボット技術や人工知能、惑星探査の研究成果を見学。未来ロボット技術研究センター(furo)の富山健研究員と先川原正浩室長の話に耳を傾けた。

一行は、東京都教育委員会とクイーンズランド教育省との間で昨年11月に締結された教育に関する覚書に基づいて企画された「東京体験スクール」に派遣するために、同州全土の高校から選抜された女子生徒12人、男子生徒3人と引率の女性教員3人と写真、後列左端に富山研究員と先川原室長。

富山研究員は「ロボット工学と数学」と題して、ロボットの動きは微分と積分の1つの数式に帰結することを英語で授業。未来ロボティクス学科1年生の授業をやや優しくした程度の内容に、高校生たちは眼を輝かせて聞き入っていた。

千葉工業大学決算（平成28年度）を承認

学校法人千葉工業大学の平成28年度決算が、5月25日の理事会・評議員会で承認された。平成28年度は学部・学科の規模の適正化をほかり5学部17学科体制でスタート。さらなる教育環境の充実を目指し、新習志野キャンパスに新講義棟の建設に着工するなど、環境整備を反映した予算になった。

（28年度事業計画の全文は本学ウェブサイト公開中）

1 教育研究活動

- ① 入学試験関係
 - 平成29年度入学試験（平成28年度実施）における学部入学試験の総志願者数はほぼ昨年並みの7万6001名となった。
 - （2）学生生活の満足度向上へ向けた継続的対応
 - ① 学生生活アンケート調査の実施と活用
 - ② 授業アンケート調査の実施と活用
 - ③ 大学生基礎力調査（自己発見レポート）の実施と活用
 - ④ ICTを活用した学生サービス
- ② 単位互換制度
 - （3）入学前教育の充実
 - （4）教養基礎教育カリキュラムの充実
 - ① TOEIC試験の実施
 - ② テーマ別履修の実施と課題探究セミナー（総合学際科目）との連携
 - ③ 教養特別科目（ボランティア、国内インターン、国際インターン、ソーシアルアクティブラーニング等）の実施
 - （5）初年次教育の充実
 - ① 初年次教育科目における新たな取組（サイバー大学と
- ③ キャリア教育の実施・充実
 - ② キヤリア形成支援プログラムの強化
 - （9）インターンシップの促進
 - （10）新入生に対する少人数制による総合的な支援
 - ① ガイダンス・オリエンテーションの教職協働実施
 - ② クラス担任制
 - （11）習熟度別教育の充実
 - （12）包括協定に基づく神田外

語大学との連携事業

- （13）大学院志願者増加に向けた取組
- （14）JABEE（日本技術者教育認定機構）認定申請に向けた取組

短期招聘プログラム

- ② 海外交流協定大学との教職員交流
- ・瀬戸熊理事長の協定大学訪問
- ・小宮学長の協定大学訪問
- ・SD活動
- ・客員研究員
- ・本学訪問
- （2）地方自治体等との国際交流協力活動
 - ① 日本メキシコ学生交流
 - ② 国際交流セミナー
 - （3）国又は地方公共団体等からの競争的研究資金等の獲得支援

研究助成金の交付

- （1）戦略的先端研究推進プロジェクト助成金
- （2）競争的外部資金申請準備支援助成金
- （3）科研費採択者助成金（初年度）
- （4）フォーラム助成金（前年度からの継続事業）

研究助成金の交付

- （1）戦略的先端研究推進プロジェクト助成金
- （2）競争的外部資金申請準備支援助成金
- （3）科研費採択者助成金（初年度）
- （4）フォーラム助成金（前年度からの継続事業）
- ・研究活動報告会の開催及びプロジェクト年報の作成
- ・材料解析室・工作センター
- （6）未来ロボット技術研究センター（fuRo）
- （9）次世代海洋資源研究センター設立準備室（ORCeNG）

研究助成金の交付

- （1）工学部・工学部
- （2）工学部・工学部
- （3）工学部・工学部
- （4）工学部・工学部
- （5）工学部・工学部
- （6）工学部・工学部
- （7）工学部・工学部
- （8）工学部・工学部
- （9）工学部・工学部
- （10）工学部・工学部

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	13,663,000,000	13,668,712,500	△5,712,500
手数料	358,500,000	370,328,200	△11,828,200
寄付金	131,000,000	142,416,256	△11,416,256
経常費等補助金	898,000,000	900,005,526	△2,005,526
付随事業収入	540,000,000	652,568,688	△112,568,688
雑収入	283,000,000	309,491,326	△26,491,326
教育活動収入計	15,873,500,000	16,043,522,496	△170,022,496
事業活動支出の部			
人件費	6,925,000,000	6,846,046,982	78,953,018
教育研究経費	6,866,500,000	6,716,478,391	150,021,609
管理経費	1,917,100,000	1,856,796,307	60,303,693
教育活動支出計	15,708,600,000	15,419,321,680	289,278,320
教育活動収支差額	164,900,000	624,200,816	△459,300,816
教育活動外収支			
収入の部			
受取利息・配当金	91,000,000	98,742,065	△7,742,065
教育活動外収入計	91,000,000	98,742,065	△7,742,065
支出の部			
借入金等利息	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	91,000,000	98,742,065	△7,742,065
経常収支差額	255,900,000	722,942,881	△467,042,881
特別収支			
収入の部			
資産売却差額	1,000,000	1,308,580	△308,580
その他の特別収入	74,000,000	85,601,885	△11,601,885
特別収入計	75,000,000	86,910,465	△11,910,465
支出の部			
資産処分差額	49,000,000	47,413,154	1,586,846
その他の特別支出	700,000	648,000	52,000
特別支出計	49,700,000	48,061,154	1,638,846
特別収支差額	25,300,000	38,849,311	△13,549,311
基本金組入前当年度収支差額	281,200,000	761,792,192	△480,592,192
基本金組入額合計	△320,800,000	△298,116,824	△22,683,176
当年度収支差額	△39,600,000	463,675,368	△503,275,368
前年度繰越収支差額	△7,278,400,000	△7,278,393,734	△6,266
基本金取崩額	17,000,000	17,000,000	0
翌年度繰越収支差額	△7,301,000,000	△6,797,718,366	△503,281,634
事業活動収入計	16,039,500,000	16,229,175,026	△189,675,026
事業活動支出計	15,758,300,000	15,467,382,834	290,917,166

貸借対照表

平成29年3月31日

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	109,069,741,449	107,492,362,984	1,577,378,465
有形固定資産	70,568,346,890	71,971,580,802	△1,403,233,912
土地	9,343,367,496	9,343,367,496	0
建物	51,002,118,188	53,126,593,952	△2,124,475,764
構築物	3,725,288,953	3,460,124,086	265,164,867
教育研究用機器備品	2,566,173,667	2,923,372,003	△357,198,336
管理用機器備品	960,769,292	1,181,384,642	△220,615,350
図書	1,880,461,403	1,874,599,271	5,862,132
車両	53,379,091	62,139,352	△8,760,261
建設仮勘定	1,036,788,800	0	1,036,788,800
特定資産	38,063,211,200	35,098,752,820	2,964,458,380
第2号基本金引当特定資産	3,963,211,200	4,000,000,000	△36,788,800
第3号基本金引当特定資産	10,000,000,000	10,000,000,000	0
退職金引当特定資産	2,000,000,000	2,000,000,000	0
減価償却引当特定資産	19,000,000,000	16,000,000,000	3,000,000,000
産学連携共同研究基金引当特定資産	3,000,000,000	3,000,000,000	0
小川勉教育研究基金引当特定資産	100,000,000	98,752,820	1,247,180
その他の固定資産	438,183,359	422,029,362	16,153,997
長期貸付金	274,495,999	304,479,602	△29,983,603
出資金	60,300,000	60,300,000	0
差入保証金	2,500,000	2,500,000	0
敷金	54,749,760	54,749,760	0
投資有価証券	46,137,600	0	46,137,600
流動資産	8,766,130,721	9,648,102,060	△881,971,339
現金預金	8,402,119,442	9,194,513,873	△792,394,431
短期貸付金	9,950,000	0	9,950,000
未収入金	268,463,035	306,161,904	△37,698,869
前払金	85,598,244	147,426,283	△61,828,039
資産の部合計	117,835,872,170	117,140,465,044	695,407,126

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	3,289,413,896	3,287,155,478	2,258,418
退職給付引当金	3,289,413,896	3,287,155,478	2,258,418
流動負債	5,698,472,061	5,767,115,545	△68,643,484
前受金	4,961,259,260	5,009,616,066	△48,356,806
未払金他	737,212,801	757,499,479	△20,286,678
負債の部合計	8,987,885,957	9,054,271,023	△66,385,066

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	115,645,704,579	115,364,587,755	281,116,824
第1号基本金	100,690,493,379	100,355,587,755	334,905,624
第2号基本金	3,963,211,200	4,000,000,000	△36,788,800
第3号基本金	10,000,000,000	10,000,000,000	0
第4号基本金	992,000,000	1,009,000,000	△17,000,000
繰越収支差額	△6,797,718,366	△7,278,393,734	480,675,368
翌年度繰越収支差額	△6,797,718,366	△7,278,393,734	480,675,368
純資産の部合計	108,847,986,213	108,086,194,021	761,792,192
負債及び純資産の部合計	117,835,872,170	117,140,465,044	695,407,126

短期派遣プログラム

- ・協定大学への交換留学
- ・短期派遣プログラム
- ・協定大学からの交換留学

び受託研究費

- （4）民間からの奨学金付金及び受託研究費
- （5）産学連携研究開発プロジェクト補助金
- （6）民間からの奨学金付金及び受託研究費

感星探査研究センター（PERC）

- （7）感星探査研究センター（PERC）
- 感星探査研究センター（PERC）は、感星探査装置の開発

感星探査研究センター（PERC）

- （10）その他の活動
- ① ロボカップ・ドイツ大会
- ② 長尾研開発 アクティブラボ

感星探査研究センター（PERC）

- （1）学生支援の充実強化（学生相談、課外活動、学生寮、奨学金等）
- ① 学生相談
- ② 課外活動支援の充実
- ③ 学生寮生に対する支援
- ④ 奨学金支援活動
- ⑤ 障害学生支援の充実
- （2）学生共済会の充実
- ① 見舞金給付
- ② 学生納付金貸与制度
- ③ ところからたの元気サポート

平成28年度は、昨年度に引き続き、新習志野キャンパスの再開設計画を中心に魅力ある大学づくりの一環として、教育・研究活動を支える環境整備の充実

4 施設設備整備関係

（5）利用者目線に沿った学習環境の維持・整備

（6）自学自習やアクティブラーニングの支援、図書館利用促進

に努めました。
 (1) 新習志野キャンパス再開
 発計画
 (2) その他

5 地域・社会への貢献

- (1) 公開講座
- (2) 産官学連携協議会関係
- (3) 各種のご案内
- (4) 工場見学
- (5) 産官学連携フォーラム
- (6) CIITものづくり発表会への参加
- (7) 会員企業による合同企業説明会
- (8) その他の産学連携

6 法人管理・運営関係

- (1) 文部科学省学校法人運営調査
- (2) 無線LAN環境、シンククライアントシステムの安定稼働
- (3) 情報セキュリティインシデント発生時の対応体制の確立
- (4) 学部改組に伴うコンピュータ演習室のリプレイス
- (5) 自己点検評価活動
- (6) 公的研究費等の監査の実施
- (7) 自己管理型点検評価チェックリストの実施
- (8) 三様監査連絡会の開催
- (9) 公益通報制度の充実
- (10) SD活動の充実
- (11) 衛生委員会での取組
- (12) マイナンバーの取扱い
- (13) 輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会行動宣言への賛同

7 財務の概要

- (1) 教育活動収支
- (2) 事業活動収入160億4400万円(予算比1億7000万円増 前年度比1億1400万円増)
- (3) 事業活動収入は、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、付随事業収入等の項目で予算比増と

資金収支計算書
 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
 (単位:円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	13,663,000,000	13,668,712,500	△5,712,500
手数料収入	358,500,000	370,328,200	△11,828,200
寄付金収入	131,000,000	142,416,256	△11,416,256
補助金収入	935,000,000	937,180,526	△2,180,526
資産売却収入	1,000,000	1,308,580	△308,580
付随事業・収益事業収入	540,000,000	652,568,688	△112,568,688
受取利息・配当金収入	91,000,000	98,742,065	△7,742,065
雑収入	283,000,000	309,491,326	△26,491,326
前受金収入	4,940,000,000	4,961,259,260	△21,259,260
その他の収入	14,683,200,000	14,803,762,192	△120,562,192
資金収入調整勘定	△5,259,700,000	△5,278,079,101	18,379,101
前年度繰越支払資金	9,194,600,000	9,194,513,873	
収入の部合計	39,560,600,000	39,862,204,365	△301,604,365

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	6,925,000,000	6,843,788,564	81,211,436
教育研究経費支出	4,081,700,000	3,931,697,615	150,002,385
管理経費支出	1,228,400,000	1,168,111,610	60,288,390
施設関係支出	1,644,000,000	1,642,809,956	1,190,044
設備関係支出	452,600,000	417,373,474	35,226,526
資産運用支出	15,001,300,000	15,001,247,180	52,820
その他の支出	2,979,600,000	3,050,606,791	△71,006,791
資金支出調整勘定	△447,500,000	△595,550,267	148,050,267
翌年度繰越支払資金	7,695,500,000	8,402,119,442	△706,619,442
支出の部合計	39,560,600,000	39,862,204,365	△301,604,365

①事業活動支出154億1900万円(予算比2億8900万円減 前年度比2億2600万円減)

a 人件費は、教員人件費及び職員人件費ともに若干下回り、予算比7900万円減の68億4600万円となった。人件費比率は42.4%で理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(49.5%)に比べ、引き続き良好な水準となった。

b 教育研究経費は、消耗品費、光熱水費、修繕費、委託費等で予算額を下回り、予算比1億5000万円減となった。教育研究経費比率は41.6%となり、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(36.2%)に比べ、引き続き高い値となった。今後も同程度の比率が続くと予測している。

c 管理経費は、予算比6000万円減となった。消耗品費、広報費、委託費等、全体としては経費圧縮に努めた結果と

なった。管理経費比率は11.5%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(6.3%)と比べ若干高くなったが、今後は更なる経費圧縮に努めていく。

(2) 教育活動外収支
 事業活動収入は、投資信託の配当金や受取利息により9900万円となった。

(3) 特別収支
 事業活動収入は、現物寄付や施設設備補助金などで8600万円、資産売却差額とあわせて8700万円となった。

事業活動支出は資産処分差額で4700万円、その他の特別支出と合わせて4800万円となった。資産処分差額の内訳は、建物処分差額1900万円、図書処分差額1900万円、な。

(4) 事業活動収入計162億2900万円(予算比1億9000万円増 前年度比22億円減)

事業活動収入計は、前年度比で22億円の減少となった。主な要因は、特別収入の有価証券売却差額(19億9500万円減)及び教育活動外収入の受取利息・配当金(2億9800万円減)の減少によるもの。

(5) 事業活動支出計154億6700万円(予算比2億9100万円減 前年度比7億2500万円減)

事業活動支出計は、前年度比で7億2500万円の減少となった。主な要因は次のとおり。

教育研究経費4億7200万円減

①学生生徒等納付金の安定的確保

②外部資金の獲得

③効果的な資産運用とリスク管理の徹底

④その他の収入源確保策の検討

△支出面▽

①人件費、管理経費の効率化

②教育研究経費の見直し

定資産評価差額5億3300万円減、建物処分差額1700万円増

(6) 基本金組入前当年度収支差額7億6200万円(予算比4億8100万円増 前年度比14億7400万円減 事業活動収支差額比率4.7%)

(7) 基本金組入額2億9800万円 基本金取崩額1700万円

(8) 当年度収支差額

当年度収支差額は4億6400万円の収入超過となった。翌年度の繰越額は、前年度繰越収支差額及び基本金取崩額を合わせると、67億9800万円の支出超過となった。

(9) 今後の課題
 今後も引き続き財務基盤の安定をはかるため次のような課題に取り組みしていく。

△収入面▽

①学生生徒等納付金の安定的確保

②外部資金の獲得

③効果的な資産運用とリスク管理の徹底

④その他の収入源確保策の検討

△支出面▽

①人件費、管理経費の効率化

②教育研究経費の見直し

主な内訳: 修繕費2億2800万円減、消耗品費1億4800万円減、減価償却額1億2300万円減

管理経費2億5300万円増

主な内訳: 消耗品費1億4000万円減、修繕費1億6600万円増、減価償却費2億7900万円増

資産処分差額5億円減

主な内訳: 減価償却引当特

予 算

理事会において協議した結果、平成29年度学生共済会予算案は異議なく承認された。

予算の概要は次のとおり。

△収入の部▽

受取利息
 金利低迷の中、積立金・基金の貸付金及び普通預金から発生する利息として4万円を計上した。

前年度繰越金
 3948万6149円を計上した。

△支出の部▽

給付金
 給付金支出金額は、昨年年度140万円程度であったが、新たに健康づくりサポート費用として、600万円を計上した。

学費貸与金
 学費貸与金支出額は、昨年度970万円程度であったが、各種奨学金の申請状況を考慮し、2000万円を計上した。

委託費
 昨年同様、このところかなりの元氣サポート、暮らしの法律相談の継続に

平成29年度千葉工業大学学生共済会収支予算書
 (単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会費収入	24,000,000	1. 支払保険料	23,500,000
2. 入会金収入	4,500,000	2. 給付金	6,000,000
3. 受取利息	40,000	3. 貸与金	20,000,000
4. 貸付金回収収入	24,000,000	4. 委託費	7,100,000
5. 手数料収入	1,600,000	5. 消耗品費	6,000,000
		6. 通信費	300,000
		7. 印刷費	300,000
		8. 会議費	250,000
		9. 支払手数料	400,000
		10. 事務費	200,000
小計	54,140,000	小計	64,050,000
前年度繰越金	39,486,149	次年度繰越金	29,576,149
総合計	93,626,149	総合計	93,626,149

平成28年度決算報告書
 貸借対照表
 平成29年3月31日
 千葉工業大学学生共済会
 (単位:円)

資産の部		正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
(流動資産)			
普通預金	39,486,149	共済基金	205,000,000
定期預金	508,000,000	積立金	138,000,000
		貸付充当金	138,050,403
計	547,486,149	計	481,050,403
(固定資産)			
貸付金	138,050,403	学費貸与準備金	165,000,000
		次年度繰越金	39,486,149
計	138,050,403	計	204,486,149
合計	685,536,552	合計	685,536,552

平成28年度収支決算書
 自 平成28年4月1日 : 至 平成29年3月31日
 (単位:円)

I 収入の部			
科目	予算額(①)	決算額(②)	対予算差額(②-①)
1. 会費収入	23,500,000	24,140,000	640,000
2. 入会金収入	4,500,000	4,648,000	148,000
3. 受取利息	110,000	43,286	-66,714
4. 貸付金回収収入	22,000,000	26,425,842	4,425,842
5. 手数料収入	1,900,000	1,619,125	-280,875
6. 学費貸与準備金取崩収入	0	0	0
7. 積立金取崩収入	0	0	0
8. 当期小計	52,010,000	56,876,253	4,866,253
9. 前年度繰越金	21,642,107	21,642,107	0
10. 当期収入総計(A)	73,652,107	78,518,360	4,866,253

II 支出の部			
科目	予算額(①)	決算額(②)	対予算差額(②-①)
1. 支払保険料	26,000,000	17,059,018	-8,940,982
2. 給付金	5,000,000	1,413,500	-3,586,500
3. 貸与金	25,000,000	9,705,750	-15,294,250
4. 委託費	7,100,000	7,048,080	-51,920
5. 消耗品費	3,150,000	3,105,000	-45,000
6. 通信費	300,000	17,147	-282,853
7. 印刷費	600,000	213,840	-386,160
8. 会議費	250,000	144,668	-105,332
9. 支払手数料	400,000	321,566	-78,434
10. 事務費	200,000	3,642	-196,358
11. 学費貸与準備金組入支出	0	0	0
12. 共済基金組入支出	0	0	0
13. 積立金組入支出	0	0	0
14. 当期小計(B)	68,000,000	39,032,211	-28,967,789
15. 次年度繰越金(A)-(B)	5,652,107	39,486,149	

平成28年度の学生共済会決算も同理事会で異議なく承認された。決算の概要は次のとおり。

収入の部では、貸付金回収の2200万円や受取利息等を併せ合計7

平成28年度の学生共済会も29年目を迎え、会員の学生生活が豊かなものとなるよう、制度の充実を図りつつ、平成28年度も順調に運営されました。

千葉工業大学学生共済会も29年目を迎え、会員の学生生活が豊かなものとなるよう、制度の充実を図りつつ、平成28年度も順調に運営されました。

学生共済会 予算、決算を承認

理事会において協議した結果、平成29年度学生共済会予算案は異議なく承認された。

予算の概要は次のとおり。

△収入の部▽

受取利息
 金利低迷の中、積立金・基金の貸付金及び普通預金から発生する利息として4万円を計上した。

前年度繰越金
 3948万6149円を計上した。

△支出の部▽

給付金
 給付金支出金額は、昨年年度140万円程度であったが、新たに健康づくりサポート費用として、600万円を計上した。

学費貸与金
 学費貸与金支出額は、昨年度970万円程度であったが、各種奨学金の申請状況を考慮し、2000万円を計上した。

委託費
 昨年同様、このところかなりの元氣サポート、暮らしの法律相談の継続に

係る費用として、710万円を計上した。

消耗品費
 昨年同様、災害時の非常用保存食の購入費、新たに健康づくりサポート費用として、600万円を計上した。

決算
 平成28年度の学生共済会決算も同理事会で異議なく承認された。決算の概要は次のとおり。

収入の部では、貸付金回収の2200万円や受取利息等を併せ合計7

支出の部では、災害時のための保存食を両校舎へ備蓄することができ、今後も、個人賠償責任補償や海外留学保険等の見直しを行いながら共済会事業の運営に努めたい。

千葉工業大学学生共済会も29年目を迎え、会員の学生生活が豊かなものとなるよう、制度の充実を図りつつ、平成28年度も順調に運営されました。

本学にプロジェクター2台

▼ミヤコシ・千葉銀が「みらいはぐくみ債」生かし

千葉銀行の「みらいはぐくみ債」の引受手数料の一部を使って本学にプロジェクター2台が寄贈されることになり6月12



日、津田沼キャンパス1号館2階展望ホールで贈呈式が行われた。写真。左から「みらいはぐくみ債」は千葉銀行が昨年6月に

取り扱いを開始した地方創生私募債。発行企業から受け取る引受手数料の一部で教育関連の物品を購入し、発行企業が指定する学校などに寄贈するのが特色だ。

また、(株)ミヤコシに在籍する昭和51年から今年3月までの本学卒業生27人も参加した。

「ロボットの目」は「目に見えるものだけ」



「ロボットの目」は「目に見えるものだけ」

「ロボットの目」は「目に見えるものだけ」

「世の中変える研究を」

千葉市の科学者育成プログラム 古田f u R o所長が生徒らに講演

科学に高い興味・関心をもつ中高生を伸ばすために、質の高い学習プログラムを提供する「千葉市未来の科学者育成プログラム」の平成29年度の開講式が6月17日、市立千葉高校で行われ、本学未来ロボット技術研究センター(f u R o)の古田貴之所長が「最先端のロボット技術について、科学者をめざすみなさんへ」と題して講演した。写真下。

「ロボットの目」は「目に見えるものだけ」

「谷津干潟の日」20周年 村上研が保全研究展示

▼「風神」もよそごい演舞

「第20回谷津干潟の日」フェスタつなごろう

11日、津田沼キャンパス1号館1・5Fの谷津干潟自然観察センター(習志野市)で開催された。

「ロボットの目」は「目に見えるものだけ」



「電磁気学」は物理学の基礎。産業界に進む電



脇田教授



小田教授



清水准教授

図を多用、直感的に理解

わかりやすい電磁気学

著者 本学電気電子工学科の脇田和樹教授、小田昭紀教授、情報通信システム工学科の清水邦康准教授 発行 11月5日出版 価格 2678円(税込み)

「第20回谷津干潟の日」フェスタつなごろう



展示ブースの前で村上教授(右から2人目)と研究室の学生たち

「谷津干潟の日」制定20周年。6月10日、ラムサール条約に登録された。習志野市はこの日を「谷津干潟の日」とし、都市の自然との共生を目指し行政・市民が協働して谷津干潟の保全を図ろう、と毎年イベントを開催している。

「ロボットの目」は「目に見えるものだけ」

平成30年度 千葉工業大学入学試験日程

AO・推薦・特別・編入学試験

Table with 4 columns: 試験種別, 願書受付期間, 試験日, 合格発表日. Lists various exam types like AO creation, public recruitment, and special admission with their respective dates.

大学入試センター利用入学試験・一般入学試験

Table with 4 columns: 試験種別, 願書受付期間, 試験日, 合格発表日. Lists center-based and general admission exams with dates and details.



500人「負けるか〜！」 フロア対抗 寮の大運動会

学生寮の大運動会(体育祭実行委員会委員長・加藤大晴さん)が7月2日(日)、新習志野キャンパス野球場グラウンドで開催され、青空の下、寮生、教職員ら約500人が体を思いきり動かした。

種目は玉入れ、障害物競争、借り入れ競争、大食い競争、チーム力が問われる騎馬戦II写真、フロア対抗リレーなど。中でも花形の騎馬戦では「負けるか〜！」と、気合と

ともに熱戦が繰り広げられ、会場は活気にわいた。寮運動会は異なる学年が連携することで、寮内の団結意識と交流を促す。寮生らはフロアごとに団結し、仲間を熱心に応援していた。

「楽しいの絶えない戦いで、楽しかった」思ったより燃えました。

観戦した教員らは「真剣勝負は、見ていてすがすがしかった」と感想を語った。

赤い炎がロンドンの夜空を染めた今年6月の24階建て高層住宅火災。火の恐ろしさを改めて見せつけた。「私たちはいつも頭の中で最悪の事態をシミュレーションしています」。千葉市消防局の本庁舎(千葉市中央区)で石塚正徳局長は真剣な表情で答えた。

「でも今はスプリングクラッシュ、防火壁、建材の耐火性など延焼を防ぐ手立てはこれでもかというくらい講じてある。基準を守ってればボヤ程度ですむ」と石塚さん。「むしろ中小の雑居ビル火災が増えています」。

生まれは千葉県市原市。本学へは自宅通学だ。部活はせず、空き時間にはもっぱら家に近いガソリンスタンドでバイトした。そばにある市原市消防局の消防分署員のマイカ1や救急車がガソリンを入れ

「いま一番の懸案は地震対策」と語る石塚さん。学校長などをほさきみ、緑消防署長、局長、局長をへて今年4月、第24代局長に。部下は約980人。

「いま一番の懸案は地震対策」と語る石塚さん。学校長などをほさきみ、緑消防署長、局長、局長をへて今年4月、第24代局長に。部下は約980人。

防災で地元貢献 悲観的に準備し楽観的に行動



「言うことは言うが、結構のんびり屋ですかね」と自己診断。両親、妻子と離れ、庁舎に近い官舎で单身赴任中だ。ゴルフなどで気分転換を図る。「ただ、この瞬間にも首都圏直下型の地震がこないとも限りません」。そんな話のさなか、出動指令のアナウンスが庁内に流れた。「〇〇地区で火災発生」。火事と救助の情報は本庁・所轄の全部署で共有する。なんだか気が安まりそうにないなあ。

活躍する 石塚 正徳さん (58歳) 千葉市消防局長 (昭和56年、工業経営学科卒)

「放水なしでは10分も近づけません。それほど火勢はすさまじい」。もしも、あそこで出火したら……消防車の進入ルート、消火栓の位置などを常に思い描いたという。救急車も運転した。

「JFEスチール東日本製鉄所」などのある千葉コンビナートの一角。住宅街もある。消火や救急は寸刻を争う。「放水なしでは10分も近づけません。それほど火勢はすさまじい」。もしも、あそこで出火したら……消防車の進入ルート、消火栓の位置などを常に思い描いたという。救急車も運転した。

悲観的に準備し、楽観的に行動する――これを肝に銘じている。最悪の事態を想定し、必ずクリアできること。孫子の兵法にもいわく「算多きは勝ち、算少なきは勝たず」。(計篇)と。危機管理の教えるとする財界人も少なくない。

関東圏外からも 学内ツアー楽しむ

6月オープンキャンパス



新習志野キャンパスの新しいシンボルとなった食堂前の樹木



デザイン科学科のA〇入試説明会



チバテクコの部屋



応用化学科のブースで



1、2年生の学びを体験



学生寮ツアー



機械電子創成工学科のブース



在学生に聞いてみようコーナー

今年度初のオープンキャンパスが6月18日、新習志野キャンパスで開かれた。関東圏外からも高校生や父母たちが訪れ、来場者は2700人となった。

昨年同時期には、完成したばかりの食堂棟や体育館のお披露目を兼ねて開催したが、今年はさらに新習志野キャンパスの新しいシンボル・食堂前の緑の広場が完成。広々とした空間を楽しむオープンキャンパスとなった。

学生が中心となり、丁寧な説明や体験授業が用意され、にぎやかな「学び体験」の空間となった。

在学からナマの声を聞ける「在学生に聞いてみよう」、女子高生との質問に本学女子学生が答える「チバテクコの部屋」も変わらず盛況。進

分の体育館内を全面利用した全17学科のブース会場には、各学科の特色を生かした展示物や体験授業が用意され、にぎやかな「学び体験」の空間となった。

学相談コーナーにはアドバイスを求める高校生や父母の列ができた。



武村 愛美

新任紹介 (敬称略)



長田 恵

趣味はスノーボード、ゴルフ。

クラブの活動状況

▶ 体育会	期間	大会・発表会名
ウインドサーフィン部	6/24、25	第39回ウインドサーフィン部湘南選手権
空手道部	6/25	東都六工大空手道選手権大会
剣道部	6/3、10、25、7/1	学外課外活動、第64回春季千葉県学生剣道大会、第63回春季関東理工学科系学生剣道選手権大会、第46回千葉県女子剣道選手権大会
硬式野球部	6/17~25	新人戦
サッカー部	6/11~11/5	平成29年度千葉県大学サッカーリーグ2部リーグ
射撃部	6/17、18、25	東日本学生スポーツ射撃射撃選手権大会、新人チームライフル大会
柔道部	6/25	全日本理工科学生柔道優勝大会
二輪部	6/10、11、7/1、2	新入生体験走行関東モトクロス選手権第5戦
バドミントン部	6/18~7/2	千葉県学生バドミントンリーグ戦(男子)
バレーボール部	6/18~25	春季関東理工系大学バレーボールリーグ戦
将棋倶楽部	6/18~25	新人戦
フィッシャークラブ	6/24、25	第76回学生釣魚連盟関東支部ルー・フライ大会

上記クラブのほか、多くのクラブが課外活動に励んでいます。定期的ないろいろなクラブの活動状況をお知らせしています。

（研究支援部 事務職員） 皆さんが優しく声を掛けて下さる、明るくて雰囲気の良い職場です。一日も早く仕事に慣れ、自分の役割を果たせるよう精進して参ります。

（学生センター 事務職員） 誰にも声をかけやすく、温かい雰囲気の職場です。「いつでも誰でも利用しやすい保健室」を目指して、明るく元気に頑張りたいと思います！

趣味はスノーボード、ゴルフ。

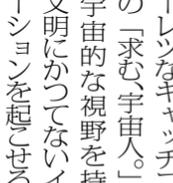
50年、75年、100年と、本学の歴史に思いを馳せるコラムが並ぶ中、私事で申し訳ないなあとはいきつ…… 7月21日は、私が心そかに想いを寄せる男性アイドルデュオ「KinKi Kids」のCDデビュー20周年記念日。この瞬間、

編集だより



5月15日の創立記念日には、本学の建学の精神

四季雑感



本学が創立75年を記念して掲出した新聞広告。キョロリンなキャッチコピーの「求む、宇宙人。」は、宇宙的な視野を持ち、文明にかつてないイノベーションを起こせる人を求める、という思いが込められている。

同窓会



今年度から同窓会の評議員を務めさせていただくことになりました。よろしくお願ひします。

「世界文化に技術で貢献する」を新たに心に刻んだ。私の周りを取り巻く「世界」「グローバル」という言葉を意識しはじめた頃、海外研修プログラムであるグアム大学での英語研修の引率者を担当することが決定した。

重なる体験をすることができました。今年度は創立75周年、同窓会が設立70周年を迎える記念すべき年です。学生の皆さんもこの節目の年を是非満喫してください。情熱を注ぎ、きつと忘れられない思い出になることでしょうか。